

# 気候変動に関する 国の動向と 今後の取り組み について

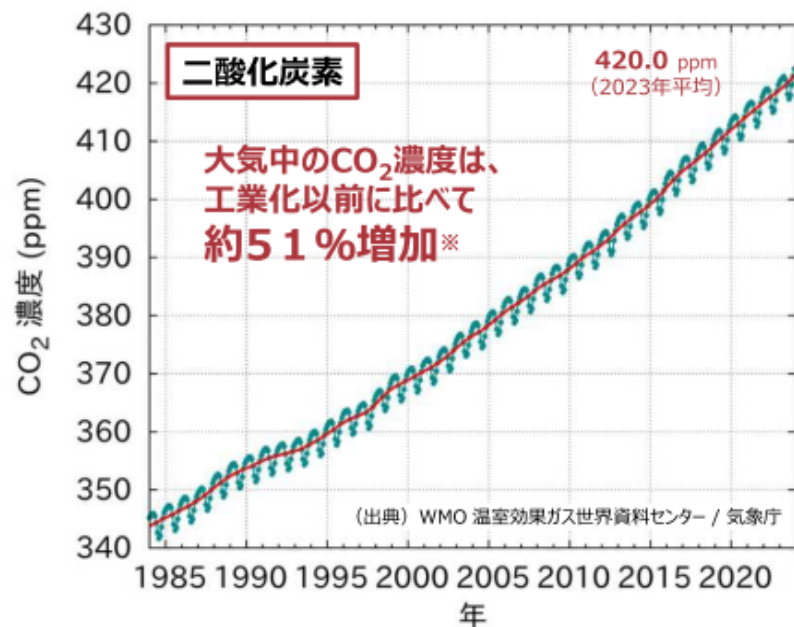


# 地球温暖化の現状



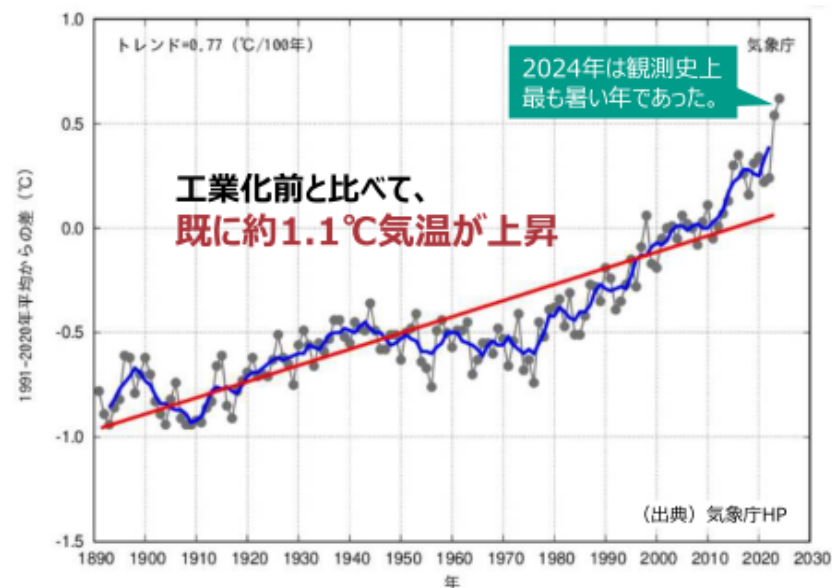
- 20世紀以降、化石燃料の使用増大等に伴い、世界のCO<sub>2</sub>排出は大幅に増加し、大気中の**CO<sub>2</sub>濃度が年々増加**。
- 世界気象機関（WMO）は、**2024年が観測史上最も暑い年**であり、世界全体の年平均気温が産業革命以前と比べて**1.55°C上昇**したと発表した（2025年1月）。

## 全球大気平均CO<sub>2</sub>濃度



※工業化以前（1750年）の大気中のCO<sub>2</sub>濃度の平均的な値を約278ppmと比較して算出

## 世界の年平均気温の変化

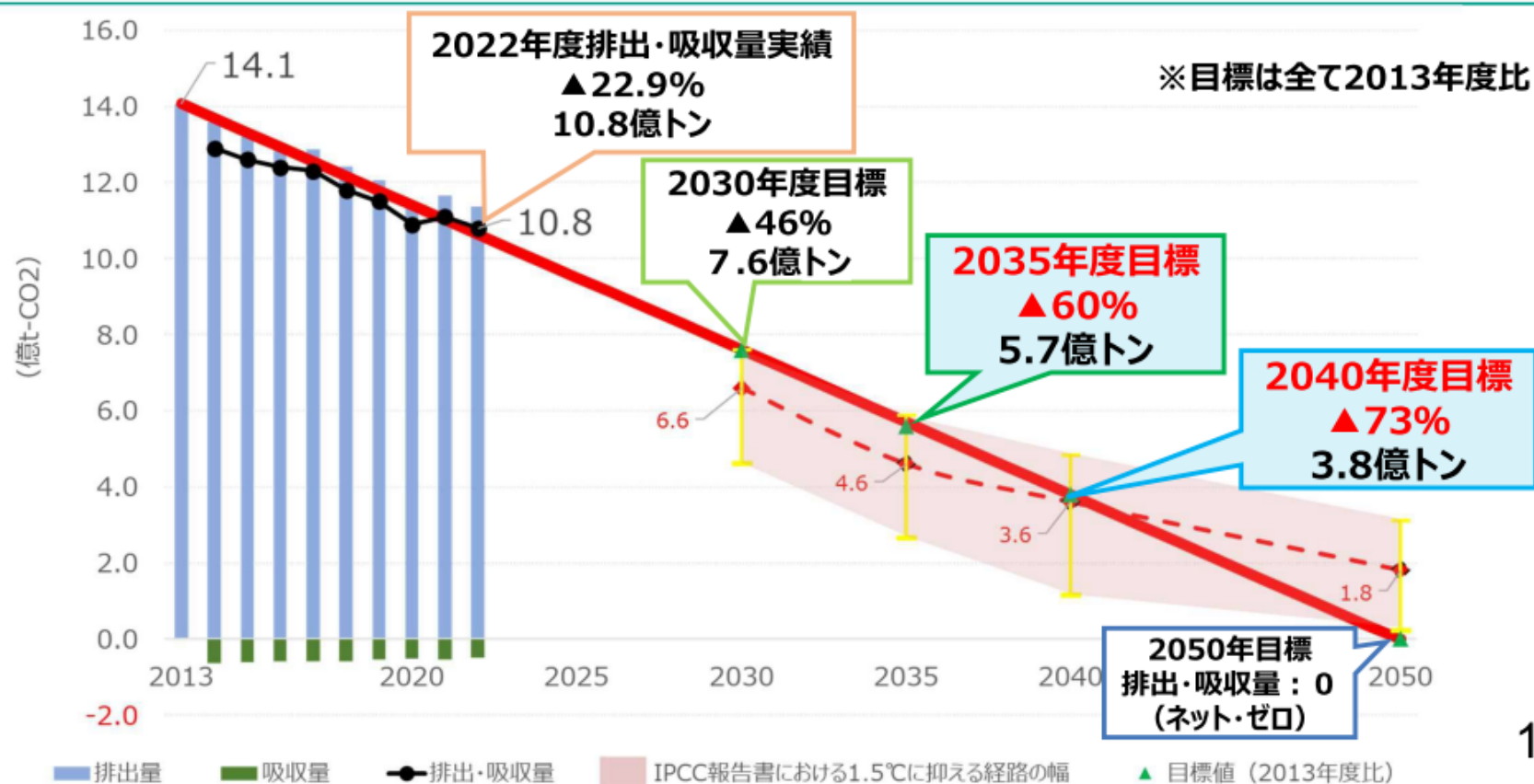


出典：環境省ホームページ

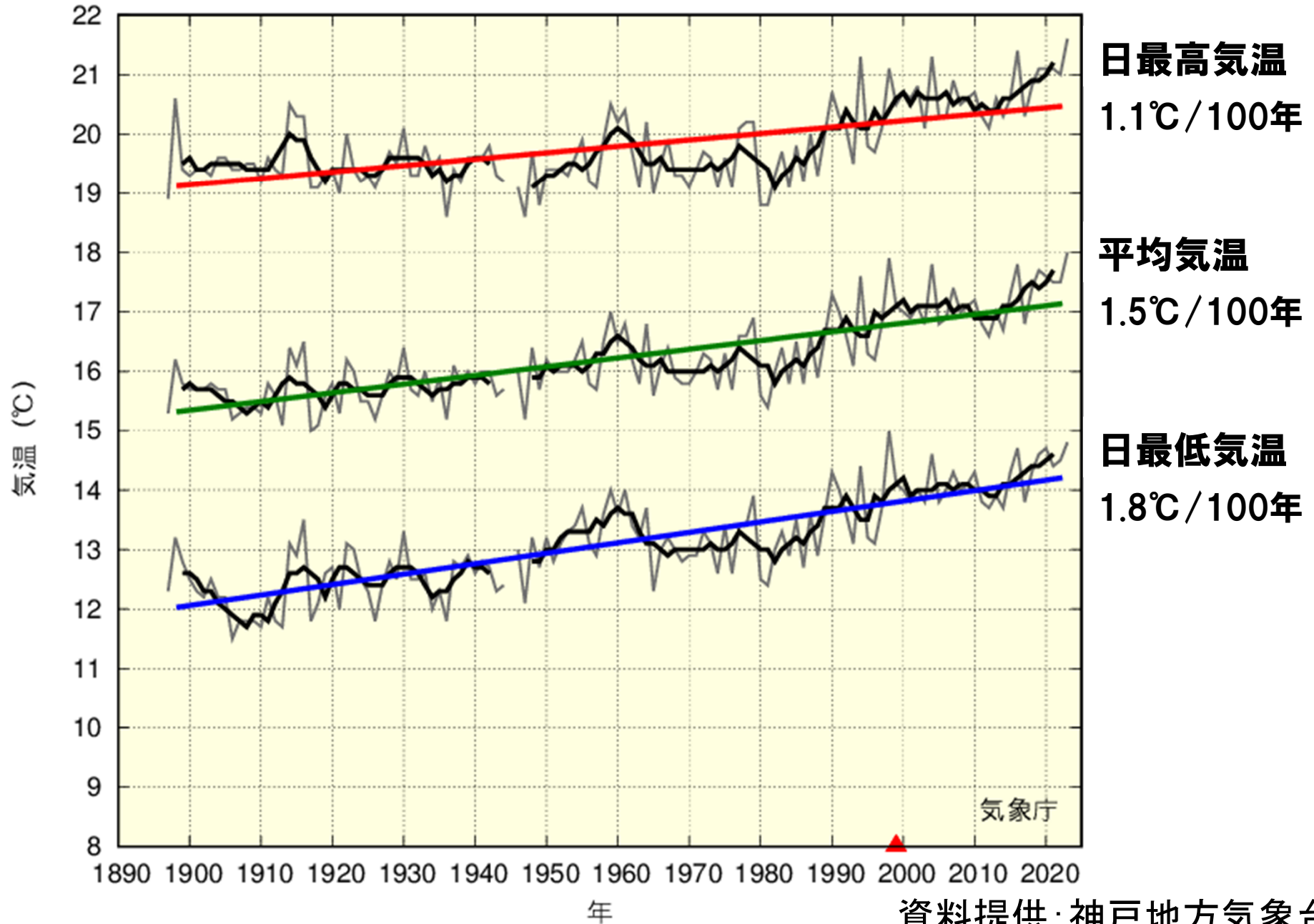
# 我が国の排出・吸収量の状況及び新たな削減目標（NDC）



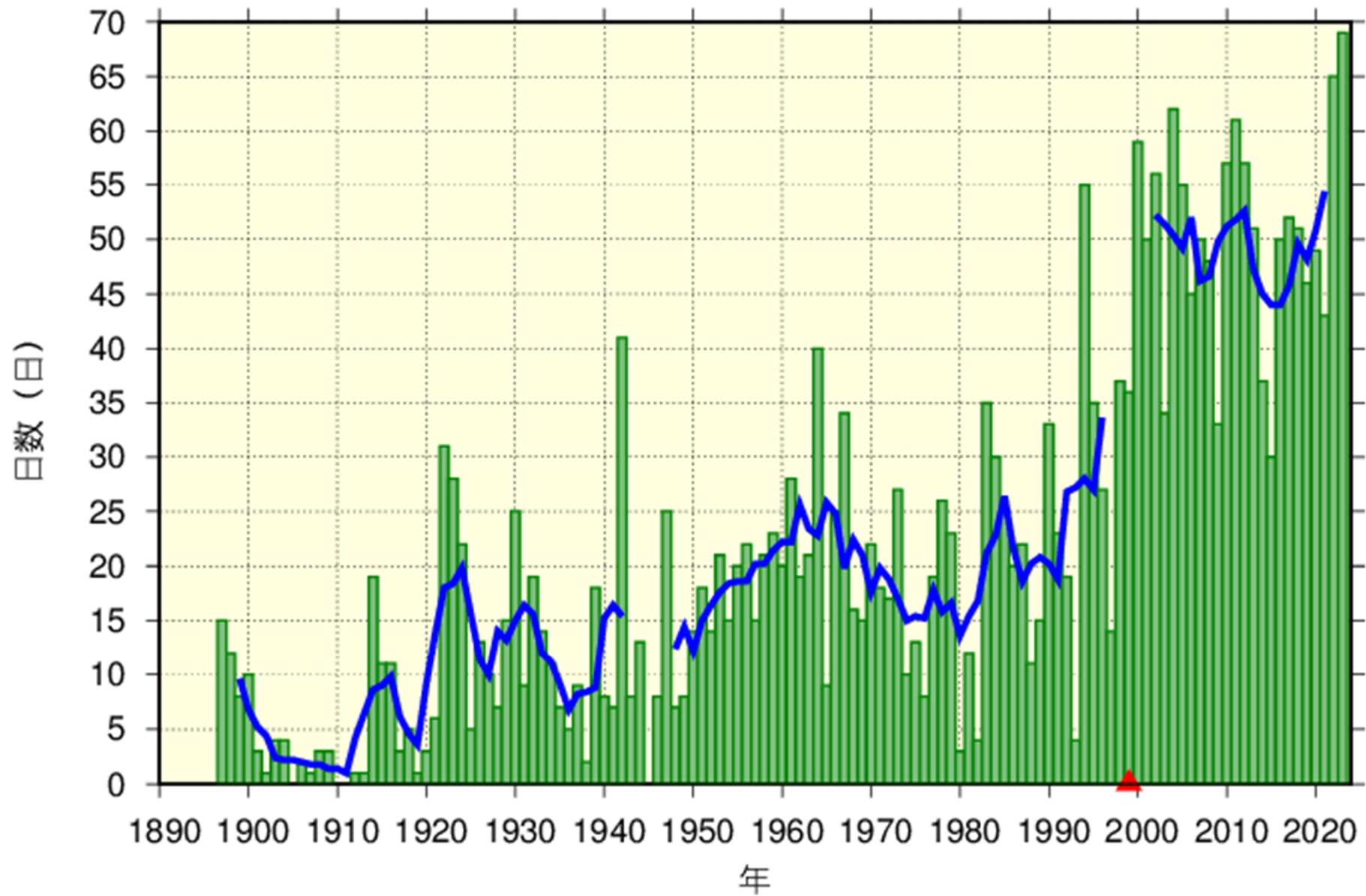
- 我が国は、**2030年度目標と2050年ネット・ゼロを結ぶ直線的な経路を、弛まず着実に歩んでいく。**
- 新たな削減目標については、**1.5℃目標に整合的で野心的な目標**として、2035年度、2040年度において、温室効果ガスを2013年度からそれぞれ**60%、73%削減**することを目指す。
- これにより、中長期的な**予見可能性**を高め、**脱炭素と経済成長の同時実現**に向け、**GX投資を加速**していく。



# 神戸の年平均気温の変化

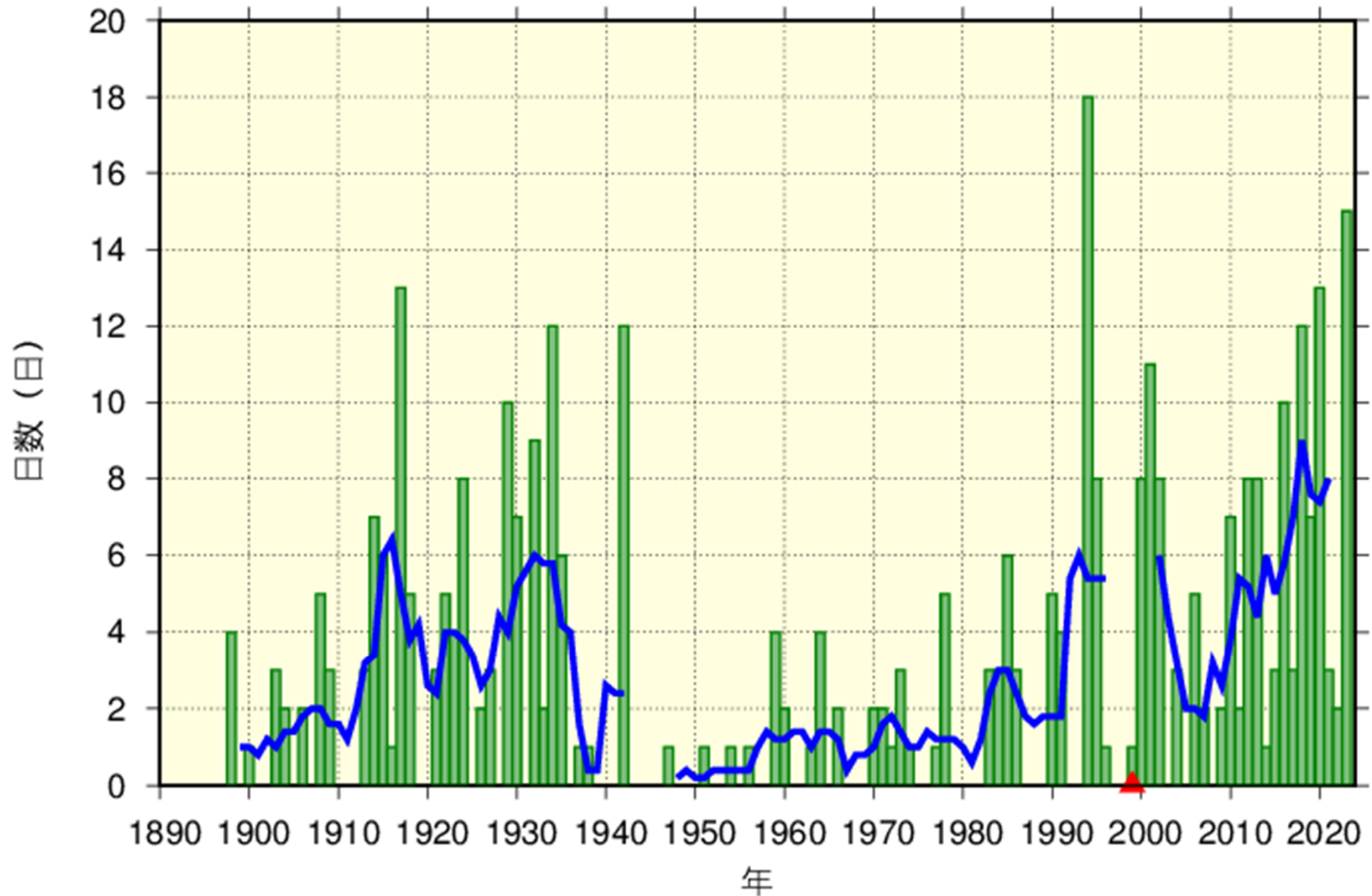


# 神戸の年間熱帯夜日数



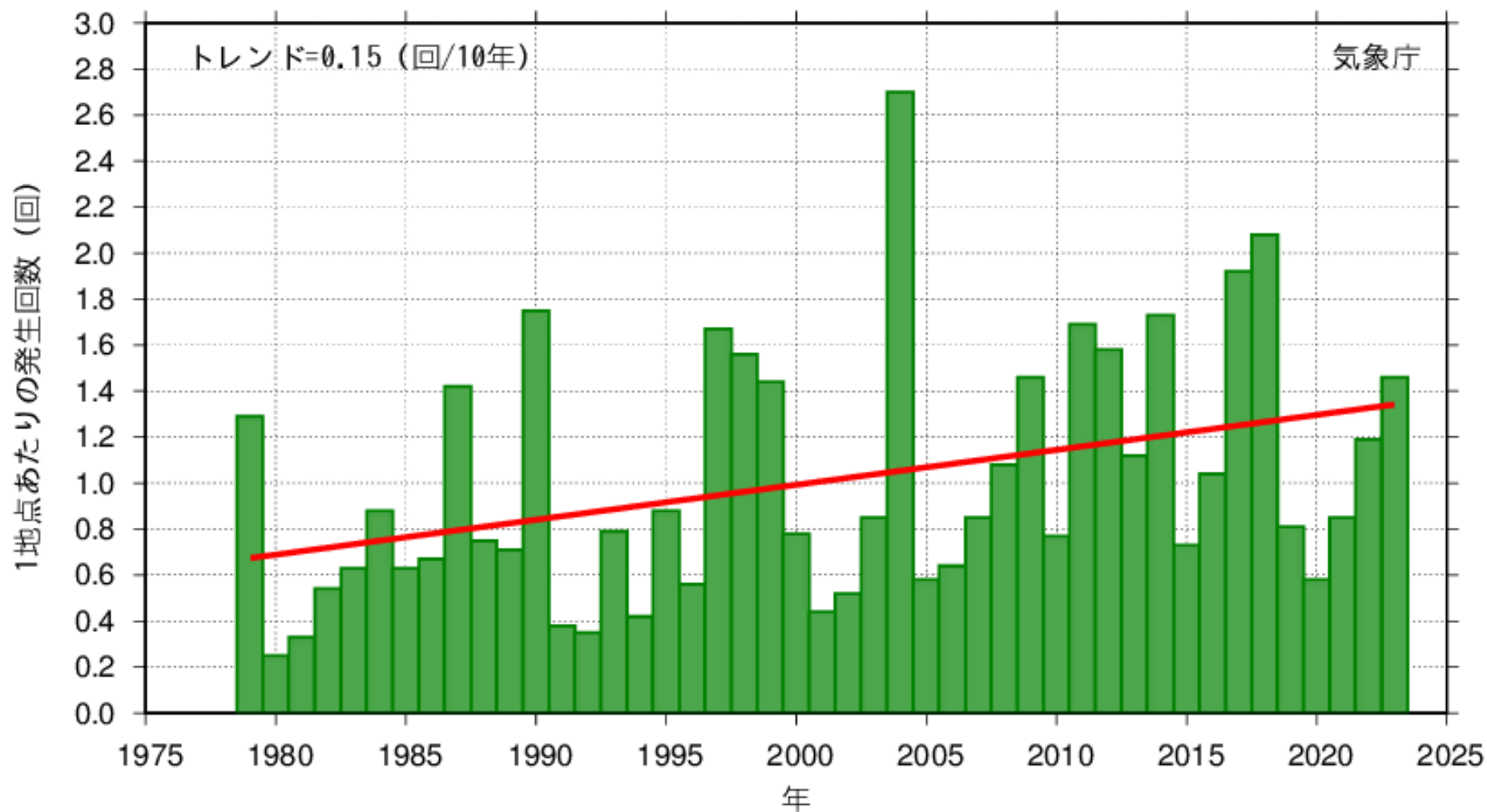
資料提供: 神戸地方気象台

# 神戸の年間猛暑日日数



資料提供:神戸地方気象台

# 兵庫県 (アメダス) 1時間降水量30mm以上の年間発生回数



資料提供: 神戸地方気象台

# 三田 過去の気象データ検索

要素名/順位	1位	2位	3位	4位	5位
日降水量 (mm)	188 (2004/10/20)	184.5 (2018/7/5)	179 (1999/6/29)	164.0 (2015/7/17)	160 ] (1983/9/28)
日最大 1時間降水量 (mm)	<b>93.0</b> <b>(2025/7/8)</b>	66.0 (2014/8/16)	57.0 (2008/7/28)	55.5 (2009/7/26)	54 (1978/6/16)
日最高気温 (℃)	<b>39.0</b> <b>(2025/7/30)</b>	<b>38.5</b> <b>(2025/7/29)</b>	38.4 (1994/8/8)	38.2 (1994/8/7)	<b>37.9</b> <b>(2025/7/31)</b>
日最低気温 (℃)	-10.6 (2005/12/23)	<b>-10.1</b> <b>(2021/1/9)</b>	-9.5 (1980/2/17)	-9.3 (1984/2/9)	-9.2 (2018/2/7)

熱中症対策(クールステーション)

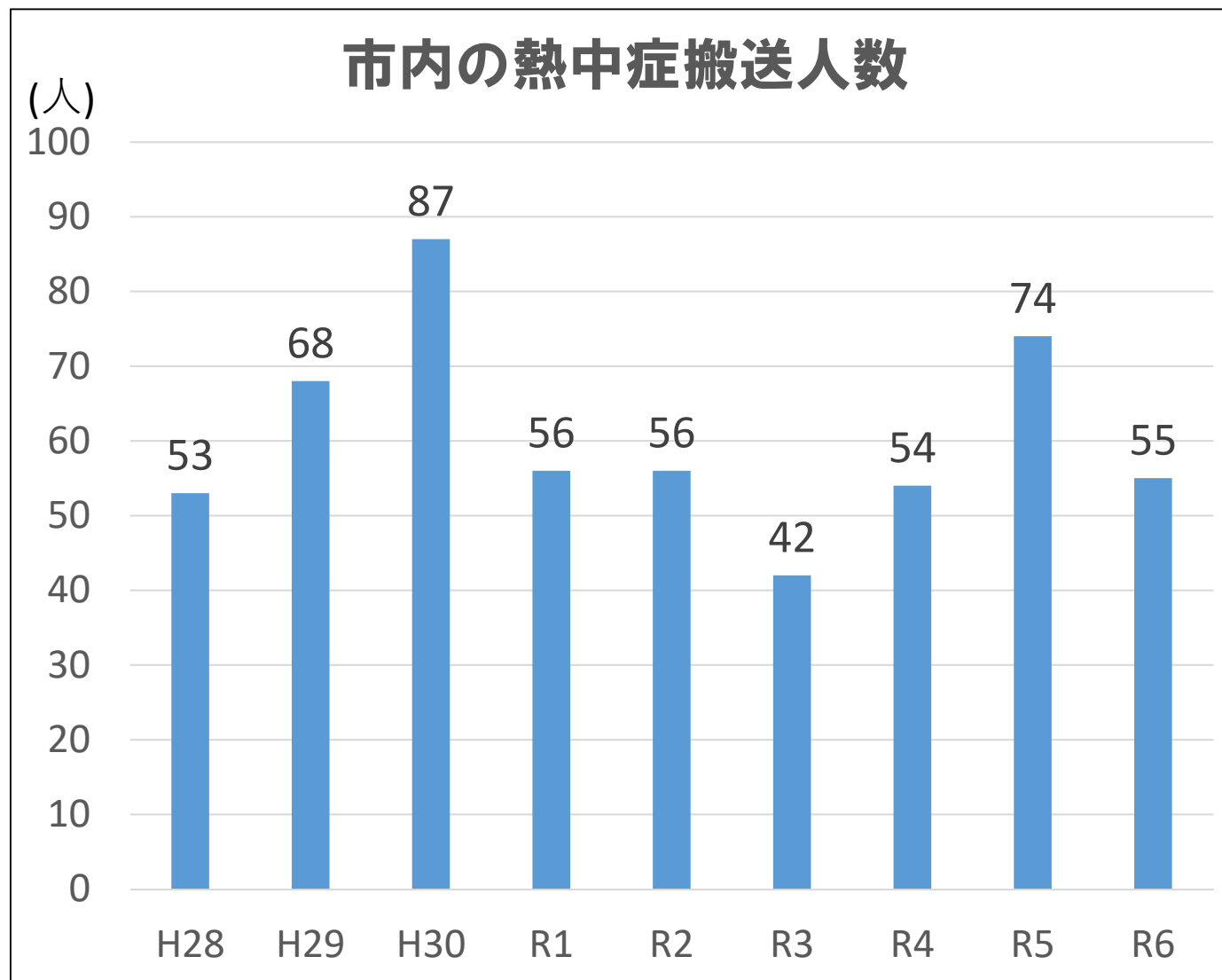


熱中症対策セミナー





←ゼロカーボンポスター



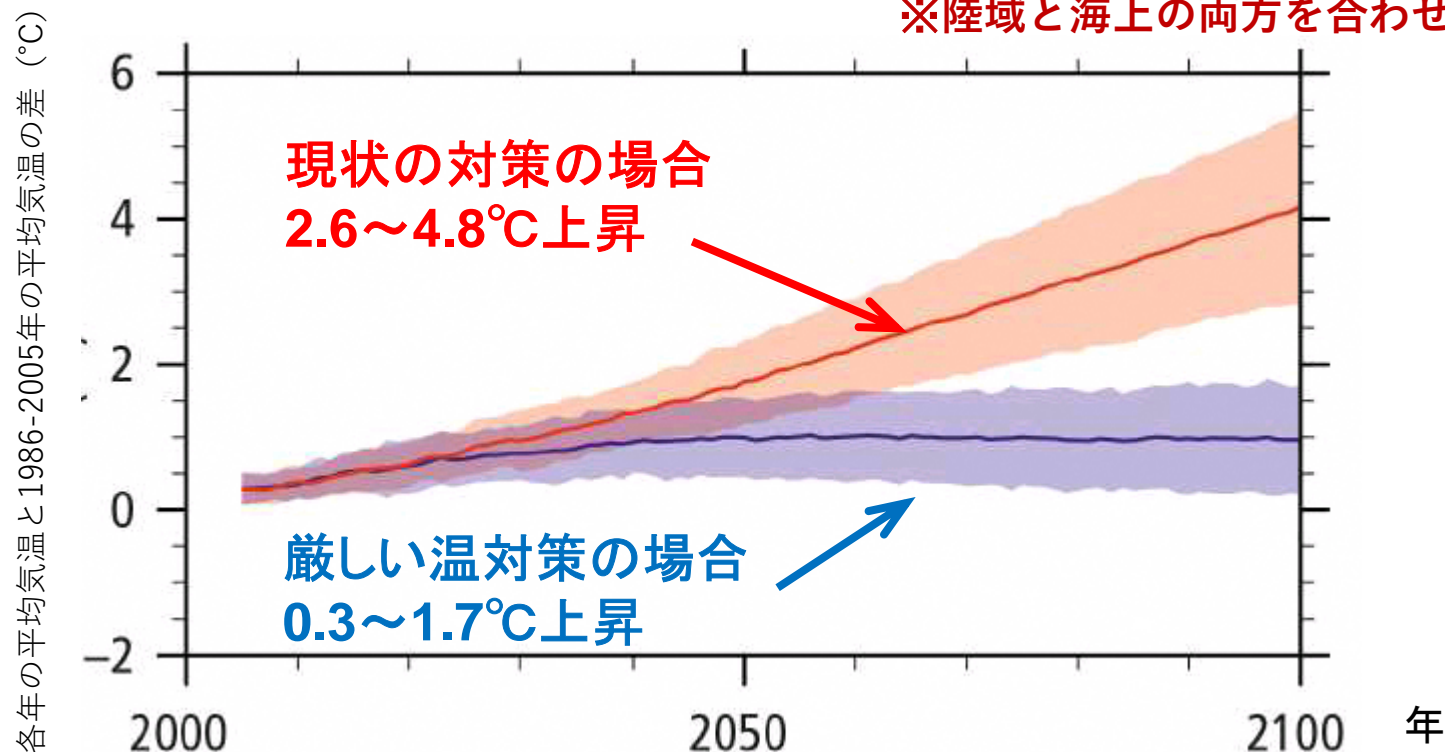
出典：三田市ホームページ

# 世界の年平均気温の将来予測

- 21世紀末(2081~2100年)には、現在(1986~2005年)に比べて  
温暖化対策(温室効果ガスの排出を抑える、または吸収する取組)を  
→現状以上に実施しなかった場合:2.6~4.8°C上昇  
→厳しく実施した場合:0.3~1.7°C上昇

【世界平均地上気温\*変化の予測 (1986年~2005年平均との差)】

※陸域と海上の両方を合わせた気温



出典：IPCC「Climate Change2014:Synthesis Report」

## 2つの地球温暖化対策～「緩和策」と「適応策」～

地球温暖化への対策は、大きく分けて「緩和策」と「適応策」の2種類がある。「緩和策」に最大限に取り組みつつ、これからは「適応策」にも取り組んでいき、「緩和策」と「適応策」を車の両輪としてバランス良く取り組むことが重要である。

### 緩和策

温暖化の原因となる温室効果ガスの排出を減らす！

省エネや節電の徹底、再生可能エネルギーの導入、緑化の推進など、これまで取り組んできた「緩和策」をより一層進めていくことが必要

### 適応策

温暖化の影響を理解し、その影響に備える！

どのような分野にどのような温暖化の影響が現れるかを知り、その影響に備え、リスクを減らすための「適応策」に取り組むことが必要

## 今後の取り組み（参考:先行事例）

- エコグッズの選択、ごみの分別・削減など
- 再生可能エネルギーの使用（太陽光発電など）
- ゼロカーボンシティ宣言や気候変動に関する宣言、市民会議など（明石市など）
- 住宅用外付け日よけ設置の補助制度（熊谷市）
- プラスチック廃棄不要のウォータースタンド

